

附属教育実践総合センター

自主参加研修会「授業支援ツール『MetaMoji Classroom』の操作方法と活用法」を実施しました(齊城特任教授)

教育学部附属教育実践総合センター 地域実習担当の齊城勝美特任教授が、実習対策はもとより、これからの教員に必要となる ICT 活用力向上のため、3 回生の希望者を対象とした自主参加研修会を 7 月 30 日（火）に実施し、7 名の学生が参加しました。

当日は、大津市内の現役教員、苗代峻平先生（現在、本学教職大学院 教育実践力開発コースに在籍中）を講師にお迎えし、授業支援ツール「MetaMoji Classroom」の基本的な操作方法から、実際の学校現場で活用する際の方法やコツを具体的に講義していただきました。後半には、講義内容を受けて、学生がタブレットを使い演習を行いました。

なお、株式会社 MetaMoji の協力の下、参加した学生達には、自宅においても引き続き操作方法の練習や教材作成ができる環境を期間限定で提供しています。そのため、9 月からの教育実習に向けての準備や実際に教職に就いた後にも活用できる教材作成が可能な環境となっています。

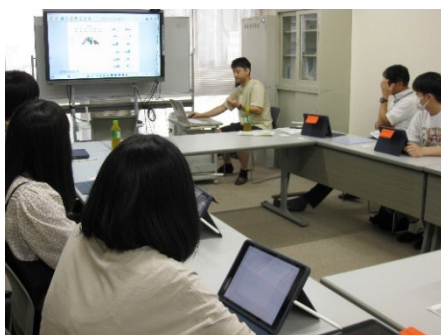


参加した学生の皆さんの感想

- ◆ メタ文字についてこれからの実習でどのように使用していくべきなのか困っていたので、使い方や実際の例を学ぶことができて大変ありがたかったです。自分が使用する時は子どもたちの学びを深められる教材となるように夏休み期間を使って有効活用できる方法を考えていきたいです。
- ◆ 教育実習でメタ文字を使った授業をしたいと思っていた。今回の講座でメタ文字の使い方や機能を実践的に学び、個別学習でタブレットを利用する重要性を学んだ。子どもの学びに良い効果をもたらすメタ文字の利用や子どもの主体的な利用をこれからも意識していきたい。



- ◆ 実習中になにも分からない状態で担当の先生に聞きながら授業を進めていました。後半の実習でも使っていきたくて受講しました。私が使おうと思っている使い方について詳しく教えて頂き、さらに教師側が使える機能や生徒側の機能も知り、より後半の実習に自信が持てました。自分のアカウントもあるため、自分なりに作ったりして、実習までにスムーズに使いこなせるようにしたいと思います。



- ◆ メタ文字の使い方や、どうやって提示するのか、授業の中でどのように活用すればよいかを学ぶことができた。メタ文字をどうやって使えば良いか、共有はどうするのかなど全く分からなかったが、大体どう使えばよいか分かった。こういう機会を設けて下さってありがとうございました。



- ◆ 使える機能の幅についてあまり知らなかったのですが、使うことに対してハードルが高いと感じていたが、実際に操作してみたり、どんなことができるのかを体験してみたりすることができて、後半の実習では使うことにチャレンジしてみたいと感ずることができるようになったので、参加してよかったと感じた。

- ◆ メタ文字の研修会を受けて、おおよその使い方を知ることができました。授業内容の理解や学習活動がより効果的になるようにメタ文字を用いて授業をしていきたいです。

- ◆ メタ文字の使い方や使う利点などについて、理解することができた。今後に生かしていきたいと思った。大学の講義でぜひ学びたいと思った。



【参考】…文部科学省のサイトで紹介された事例

- [GIGA スクール構想のもとでの各教科等の指導について\(概要\)](#)

※各教科等の特質に応じた、1人1台活用事例の概要を紹介しています。